

# ふるさとを語る

兵庫県は、5つの国から成り立っており、多彩な人材を輩出しています。そこで、毎回、さまざまな分野で活躍中の方に「ふるさとひょうご」を語っていただいています。

今回は、大宮八幡宮宮司で、大宮幼稚園園長でもある鎌田紀彦さんに、古川県人会事務局長がお話を伺いました。

## 鎌田 紀彦

かまた としひこ

篠山市出身

1939年3月1日 兵庫県生まれ

主な経歴 1963年明治神宮に奉職、明治記念館副館長を経て、1994年明治神宮権宮司、同責任役員、同外苑苑長兼明治記念館館長等に就任。  
1998年大宮八幡宮宮司、同代表役員、大宮幼稚園園長。2015年神職の最高位である神職身分特級に昇進。

出身校 県立篠山鳳鳴高校卒業後、京都國學院を経て、國學院大學文学部神道学科を卒業。



**篠山のご出身と伺いましたが、最初にふるさとの思い出についてお聞かせください。**

篠山城の鬼門（東北）に澤田八幡宮があり、そこで生まれました。代々の社家です。

小学生、中学生の頃は、野原を駆けまわって遊ぶのが好きでした。先輩に連れられて、春の芽が出る頃になると山に登り、桜の花の下でおにぎりを食べべたりました。花見のルーツが残っていたのだと思います。

昔は四季折々の生活の中に無意識的に神々の存在がありました。

例えば、山桜の咲き具合で収穫を占いました。「桜（さくら）」の「さ」は神々を現し、「くら」は「座」、「場所」を現します。つまり桜は神々のいらっしやるところを現わします。桜が咲き出したら、種を蒔き発芽させ、苗を作ります。これを「早苗（さなえ）」と言いますが、神々の苗ということ。ツツジ等の花々を竹の竿にくくりつけて家門に立てて「うづき」と呼んでいました。これは、「田」の神々を祭っているのです。田に神々が降りてこられるのを「さおり」と言います。又、五月を「さつき」と言い、「さをとめ」「さおとこ」が田植えをする時期ですね。無事に共同作業で田植えがすみますと近隣の人達で慰労の会食する「早苗饗（さなぶり）」を催します。「さのぼり」が「さなぶり」になったとも言われています。今でも郷里では、この頃の催しを「さなぶり○○の会」と言って、「和」を大切にしています。昔は集落で共同で農作業をしなが

ら良い収穫があるようにと、たえず神々に祈ってまいりました。それらがやがて神社を形成し、神祭りに繋がってきます。収穫したものを神々にお供えて、それをいただく。命あるものを神々から賜る。食べ物のルーツは神々よりの「賜わりもの」からきているのです。幼少の頃、故郷ではまだまだこの様なことが随所で行われている環境で育ちました。長じるに従い、その裏付けである神祭りが解るようになりました。

デカンショ祭の思い出は、子供の頃、花火大会ぐらいにしか思っていないませんでした。お城で花火をやっており、デカンショ踊りや、江州音頭など盆踊りを見に行きました。

**篠山鳳鳴高校ではどのように過ごされましたか、その頃のお話を聞かせてください。**

当時、高校には、普通科（4クラス）、家庭科（3クラス）、商業科（1クラス）の8クラス400名が在籍しておりました。私は、商業科で3年間持ち上がりで、卒業後も同級会がしばしば行われてきました。

部活は購買部があって、顧問が氏子地域の先生でしたので、そこに入り、学用品等を販売して、商業の実践を学びました。簿記検定2級の資格を取りました。それが奉職後、大いに役に立ちました。

**神職の修行時代の苦労や楽しかったことなどをお聞かせください。**

高校卒業後、京都國學院（2年課程）に入学しました。神職の資格を得るための学校です。1年の時に合宿で、初めて神職の着物を着ました。それが神職修行の始まりです。2年目に近隣の神社で実習が始まります。私の場合、それが京都の石清水八幡宮でした。そこでいろいろと神職の手ほどきを受けました。やることなすこと、楽しかったです。身褌（みそぎ）もありましたが、苦痛は感じませんでした。卒業時に、更に上をめざし、東京の國學院大學（4年課程）に入学しました。石清水八幡宮の宮司様のご長男が上級生で、寮の紹介をいただきました。定員120名の自治寮で、他の学部の子生もいま

した。大学のクラブでは、大学に祀られている神社の祭典に奉仕する礼典と、雅楽。都内の神社で子供を集めて神道教化や神道のPRを行う教化の3部を併せて活動する「瑞玉會（みづたまかい）」というのがあり、そこに入学しました。今、瑞玉OB会の会長を勤めています。

### 大学卒業後、明治神宮に奉職されたんですね。

大学を卒業する時に、大学の紹介で明治神宮に行くことになりました。昭和38年のことです。大学は京都と東京で計6年間通いました。それから36年間、明治神宮でお世話になりました。

明治神宮は東京では一番大きい神社です。内苑で20万坪、外苑も10万坪あります。明治天皇が崩御になり、明治天皇をお祀りしようという声がありました。彦根の井伊家のお屋敷があったところが、皇室の御料地ということで、天皇にご縁の深かったこの地に神宮が創建されました。平成32年は御鎮座100年祭に当たります。

明治記念館副館長・館長を勤めた6年半は、背広を着て勤務していました。記念館は昭和22年に開館しており、入社当時、年間5千組くらい結婚式がありました。来年70周年を迎えます。館長在職の時に50周年記念事業を行いました。館長と兼務で外苑苑長も勤めました。学生野球のメッカである神宮球場は明治神宮の所有であり、国立競技場も以前は神宮競技場と言って、明治神宮の所有でした。

私が苑長をしている時にヤクルトスワローズが何度か優勝しました。祝勝会の鏡開きに出席しましたが、ビールかけてびしょ濡れになるのですぐに逃げるようにと言われました。楽しかったですね。昨年は神宮球場でビールかけをやっていましたか。あれはいいですね。ファンも一緒に楽しむことが出来たのは良かったと思います。

### 大宮八幡宮に移られたのは、明治神宮で定年を迎えてからですか。

定年前です。ご縁を頂き、平成10年7月に大宮八幡宮に来ました。今年19年目になります。早いですね。平成25年には、御鎮座950年式年大祭をご奉仕させていた

だくことが出来ました。私自身も神職生活50年をすぎ、今年、50年の表彰を受けました。

### 神職身分特級の表彰を受けられたと聞きましたが、神職身分とはどのようなものなのでしょうか。

昨年、神職身分特級に昇進しました。特級ということ、この白い藤紋の入った白い袴をはくことになりました。

神職には資格と身分があります。資格では上から淨階、明階、正階、権正階（ごんせいはい）、直階の5段階があります。又、身分は4級から特級まであり、その身分に応じた装束と袴の色があります。3級では装束緑袍に浅黄（水）色の袴をはきます。その上が2級で赤袍に紫の袴、1級と2級の間に2級上があり、赤袍に紫に薄い藤紋が入った袴になります。1級以上は淨階位となり黒袍に藤色に白い藤紋が入った袴となり、特級は白色に白い藤紋が入ります。特級は、東京でご存命の方では私で7人目になります。全国ではもっといらっしゃいますが、**篠山鳳鳴同窓会関東支部長をお勤めですね。**

明治神宮で全国物産展を担当し、全国から特産物の奉納があります。たまたま兵庫県の担当者が篠山鳳鳴高校出身の先輩でした。そこで多紀郷友会（明治の頃より鳳鳴義塾、鳳鳴中学（旧制）の卒業生等の東京在住者の会）の存在を知り、入会させて頂きました。篠山鳳鳴高校創立100周年の時に東京に支部を作ろうということになりました。今年140年を迎えるのでちょうど40年前に関東支部が発会しました。設立総会を明治神宮で行うことになり、記念式典のあと、神前に奉告参拝も致しました。その後の総会は不定期で、思い出した頃に2度ほど神宮で行いました。その後は会場を明治記念館に移し、集いを開くようになりました。前支部長より、関東支部設立の折から関わっていましたので、第三代支部長に推薦され、総会で選出されました。私の代になってから2年おきに支部の集いを開催するようにしています。それで8回目まで明治記念館で行い、9回目以降は大宮八幡宮で開催しています。来年（平成29年）6月18日（日）

に第11回の集いを予定しています。

### 大宮幼稚園の園長もされていますが。

大宮幼稚園は園児320名の3ヶ年の幼稚園です。昭和25年から開園しています。神社ならではの保育活動をしておりまして。その一端として、各自お弁当を持ってきていただいています。幼い時は親の愛情が非常に大事なんです。お母さんの手作り弁当から愛情が伝わります。

また、神社のお祭りに園児等が参加する機会が多いのも特徴です。年長になりますと4人1組で装束を着て、神前で神楽舞（朝日子舞）を奉納します。ローテーションを組み、全員が神前で舞います。その園児等の家族の方々も参列されます。そんな中で神々を敬う気持ちが芽生えるのです。神々は目には見えませんが、見守って下さっていることを感じとります。

### 最後に、兵庫県人の方やふるさと兵庫に対するメッセージをお願いします。

それぞれに自分の生まれたるささと対する思い出とかがいろいろとあり、そのようなものを踏まえて各方面で皆さん活躍されていることと思います。篠山出身者の県人会への出席が少ないのですが、地元が発展して欲しいという願いを持っていきます。丹波篠山の地場産業・黒豆や山の芋の特産物がとても人気がありますし、丹波篠山のデカンショ節が日本遺産に認定されるなど、文化伝統に力が入ってきております。より多くの方々に篠山に訪れて欲しいものです。



大宮八幡宮にて、鎌田宮司（右）と古川事務局長